

# ホームルーム活動（人権）学習指導案

指導者

1 日 時 令和 7年 月 日 第 限

2 ホームルーム HR ( 名)

3 主 題 高齢者の人権について

## 4 主題設定の理由

(クラスの実態について省略)

現在、日本は総人口の約3割が65歳以上の高齢者で、世界でもトップレベルの高齢化率である。平均寿命は男性約81歳、女性約87歳と世界最高水準であるが、その一方で「健康寿命」との差があるため、医療的支援が必要な期間が長くなることが課題となっている。

加齢に伴う心身の変化や社会的な立場の弱さから権利が軽視されがちな高齢者の現状を理解し、人間としての尊厳を守りながら関わっていくために、高齢者一人一人がどのような人生を歩んできたのかを想像し、人権を尊重していこうとする態度を養いたいと考え、本主題を設定した。

## 5 ね ら い

実習において接する高齢者だけでなく、日常生活で出会う高齢者に対しても、権利や人格を尊重した適切な姿勢で関わろうとする意欲を養う。

## 6 指 導 計 画

### (1) 本時の学習

第1回 高齢者の人権について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

### (2) これからの学習

第2回 感染症と人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

第3回 就職差別・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

## 7 本 時 の 学 習

### (1) 目標

- ① 高齢者一人一人にそれぞれの人生があり、それを尊重し、人間としての尊厳を守る必要があることを理解させる。
- ② 高齢者の権利や人権を尊重していこうとする意欲を高める。

### (2) 普遍的な学習のテーマ・・・・・・・・基本的な人権の尊重、個人の尊厳

個別人権課題名・・・・・・・・高齢者

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (5分)	○本時のテーマと目標を確認する。	○本時の目標を説明し、学習の方向付けをする。	
展開 (40分)	<p>○超高齢社会といわれる現状について理解するとともに、高齢者の孤立感という視点について確認する。</p> <p>○事前課題で調べた内容をグループで共有し、まとめる。高齢者がこれまで歩んできた人生について、その時代背景も含めて考え、グループで共有し、まとめる。</p> <p>○まとめた内容を発表し、全体で共有する。</p> <p>○これまで歩んできた人生を重ね合わせ、高齢者のどのような思いを尊重し、どう接していくか考える。</p> <p>○実習に向けて、どのような姿勢で取り組むかグループで共有する。</p> <p>○グループ内で共有した内容を発表する。</p>	<p>○現代の超高齢社会の課題について説明し、高齢者の孤立には3つの側面があることを確認させる。</p> <p>○65歳以上の高齢者について、それぞれの20歳頃と50歳頃にどのような時代だったかをグループで共有し、話し合わせる。これにより、現在の高齢者を単なる「高齢者」として捉えるのではなく、一人一人が多様な人生を歩んできたことに気付かせる。また、その時々の時代背景を考慮しながら、個人が歩んできた人生について理解し、尊重する気持ちをもつよう促す。</p> <p>○学習支援アプリにまとめた内容を発表させる。</p> <p>○高齢者が抱えているであろう心身の不安や社会的な疎外感などの困難について理解させる。</p> <p>○人権を尊重し、思いやりをもって高齢者に接するにはどうすればよいかについて考えさせる。</p> <p>○学習支援アプリにまとめた内容を発表させる。</p>	<p>○高齢者一人一人にそれぞれの人生があり、それを尊重し、人間としての尊厳を守る必要があることを理解できたか。</p> <p>(知識的側面)</p> <p>○高齢者の権利や人権を尊重しようとする意欲を高められたか。</p> <p>(価値的・態度的側面)</p>
まとめ (5分)	○本時のまとめを聞く。	○メッセージをもとに、高齢者の人権を尊重することの大切さを伝える。	